

2023年度支援事業（ビジネスプランコンテスト）  
課題提起・付加価値創造コース（アイデア募集）

## 採択ビジネスアイデア

アイデア名称：＜舟運×まち歩き×オンライン楽習＞の3点セットで東京の水辺のまちの活性化事業  
CWL（Cruise・Walking・Learning）

採択者名：松本 猛

（注）本ビジネスアイデア（原文のまま）は、採択者の希望により公表します。  
本ビジネスアイデアの知的財産権は、採択者が有しています。  
本ビジネスアイデアの無断転載・引用を禁止します。

2023年9月1日  
（追加公開：2023年10月16日）

主催者 一般財団法人 水・地域イノベーション財団

## ◆課題提起・付加価値創造コース(アイデア募集) 1/2p

ビジネスアイデアの名称	<h2 style="text-align: center;">〈舟運×まち歩き×オンライン学習〉の3点セットで 東京の水辺のまちの活性化事業CWL (Cruise・Walking・Learning)</h2>
課題及び 考案の経緯	<p>水辺のまちの活性化の大きな推進力は舟運にある。世界で今もなお発展を続けるNY、パリ、アムステルダム、バンコクなどの大都市は、主要河川とベイエリアを周遊する舟運が活発で、乗降可能な船着場がきめ細かく配置され、その後背地が経済的にも潤うように入念なシミュレーションがなされ、投資を募るしかけになっている。</p> <p>1) 構想のGoal = 隅田川・日本橋川・神田川・ベイエリアの要所に日本橋・竹芝・お台場・両国・浅草並みの船着場をつくり、舟運と水辺沿いの飲食店や商業施設等で経済を活性化すること。</p> <p>2) 今回のアイデアでは、住民や勤務者・観光客が船着場設置場所に関心と愛着をもち、エリアの価値を再発見するための機会を提供し、地域住民・商店・企業、行政、議員等、船着場を設置したい候補地の関係人口に働きかけたいと考えた。</p>
課題解決のための アイデア	<p>上記①のGoalに向けた<b>Step1の事業</b>として、バスのように頻繁に乗降ができる船着場の候補地を探す  <b>〈ロケハンのクルーズ&amp;まち歩き&amp;楽しい学習(学習)〉</b>を3点セットで提供する。船着場は、隅田川・日本橋川・神田川等に防災船着場が複数あるが、この船着場に実際に船を寄港させることにはこだわらない。</p> <p>サービス概要は、①隅田川・日本橋川(亀島川)・神田川・ベイエリアの歴史的スポット、最新スポット、  ・船着場候補スポットを船で巡り、その近くの水辺で数分停泊させて水辺から魅力を感じてもらおう⇒②次に陸に上がり、水辺から見たスポットを陸上から確認し、後背地の商店や道路・空地の状況も確認し妄想を膨らませる⇒③ ①②のロケハンの前後にオンデマンド教材(ベネッセのUdemyを活用)または、ペーパーの簡易教材を制作して、参加者の学習と「船着場拡大ムーブメント」の普及に活用する。</p> <p>※ベネッセUdemy：<a href="https://teach.udemy.com/ja/teaching-on-udemy/how-to-become-an-instructor-on-udemy/">https://teach.udemy.com/ja/teaching-on-udemy/how-to-become-an-instructor-on-udemy/</a></p> <p>⇒ビジネス的には、2時間のクルーズと2時間のまち歩きの計4時間を1日に2回転させる。</p> <p>【簡易収支シミュレーション】①船1日チャーター18万円。36名乗り×@5000円=満席時18万円。2回転で36万円。乗船率50%で18万円。②乗船ガイド+補助で3名、まち歩きガイド+補助で3名=6名=6万円。③教材製作費1コース6万円</p> <p style="text-align: right;"><b>合計で30万円</b></p>

# ◆課題提起・付加価値創造コース(アイデア募集) 2/2p

## 実施 スケジュール

2回の〈ロケハンのなクルーズ&まち歩き&楽しい学習(楽習)〉を想定

1) 1回目: 2023年11月下旬~12月「江戸東京クルーズx(CruiseとWalkingでつながる水辺の回廊」仮題

- ①コース企画・下見: 8~9月(クルーズ、まち歩きともに)
- ②オンデマンド教材作成、ペーパー作成: 9~11月(クルーズ、まち歩きともに)
- ③クルーズ&まち歩き後の意見集約→12月②のオンマンド教材へ反映

2) 2回目: 2024年3月中旬(花見時期を避ける)~「East東京&ベイエリアクルーズx(運河でCruise&Walking)」

- ①コース企画・下見: 12~1月(クルーズ、まち歩きともに)
- ②オンデマンド教材作成、ペーパー作成: 1~3月(クルーズ、まち歩きともに)
- ③クルーズ&まち歩き後の意見集約→②のオンマンド教材へ反映

## アイデア実施の 場合の協力体制

- ◆支援者: ①特定非営利活動法人 日本水フォーラム 代表理事  
水都東京・未来会議 代表 竹村 公太郎
- ②NPO法人 水都東京を創る会 副理事長 畠山 隆史
- ③東京スリバチ学会 会長 皆川 典久
- ◆協力メンバー: 水都東京を創る会のリバーガイド(有志)、東京スリバチ学会メンバー(有志)